

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	・音楽フェスなどのイベントで、来客者増が見込める。
		都市型ホテル（スタッフ）	・8月の宴会受注は前年比130%と過去最高で、宿泊も順調に推移している。
		都市型ホテル（副支配人）	・8～10月は、インバウンドを含む団体予約が目白押しで、好調に推移していく見込みである。
		コンビニ（経営者）	・競合店出店から9か月が過ぎ、客の戻りを感じている。当初は前年割れが続いたが、ここに来て前年超えで、来客数の落ち込みも止まった感があり、全体的に103%ほどで推移している。
		衣料品専門店（統括）	・夏真っ盛りで、各地でお祭りが行われている。この暑さにもかわらず最高の盛り上がりだが、これから秋にかけてもまだまだお祭りが続く。ふだん動かない客も必要に応じて商品の購入に動いている。
		一般レストラン（経営者）	・毎年、子供たちの夏休みが終わると来客が元に戻る。涼しくなって人が動くことも期待している。
		スナック（経営者）	・ボーナスも支給されたようなので、来店客が増えると期待して、やや良くなる。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・長期的に省力化投資を行う動きは続いていくとみている。新しい調理方法等を取り込むための技術的な習得が中小企業にも必要となっている。
		旅行代理店（従業員）	・働き方改革で時間ができるか、作業過程を見直す良い機会という声がある。
		通信会社（経営者）	・県の行政補助事業の話がちらほら入ってきている。これが動き出せば、多少なりとも売上につながるのではないかと。
		ゴルフ場（総務担当）	・天候に加え、Web予約が順調に推移しており、土日祝日は前年と比べて増加している。
		商店街（代表者）	・地元客は他市への流出が多く見られ、これから先の期待は薄い。最近は店主との会話で「いつまで商売を続けられるか」という話がよく出る。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・天候が回復するのは第一だが、食欲の秋となってくれば、皆が元気に生活してくれるのではないかと。現状維持とみている。
		百貨店（営業担当）	・好転につながる与件は皆無である。引き続き苦戦が予想される。
		百貨店（営業担当）	・衣料品の好不調は残暑次第のところ大きい。食品や化粧品などの消耗品は堅調に推移するとみている。2～3か月先も店全体としては大きく変わらない。
		百貨店（副店長）	・化粧品は好調が続いているが、その他商品の買い回りは不十分である。9月に改装効果が一巡することもあり、その後は厳しい状況も想定される。
		百貨店（店長）	・衣料品や身の回り品など季節変動のある業種のテナントの来客数は好調であるが、食料品の来客数は微減となり、まだら模様である。
		スーパー（総務担当）	・今年はずっと安定していて、来客数も前年を上回っていることから、今後も好調は継続しそうである。野菜の価格が上昇していることが少し気になるが、その他に今後のマイナス与件はない。
		コンビニ（経営者）	・この先、全体的には東京オリンピック景気等があって底上げとなる。ただし、基本的な客の動向をみると、それほど良くはないのではないかと。地方ではまだそれほどオリンピック景気等の恩恵はないと感じている。
		衣料品専門店（販売担当）	・幾分、暑さに慣れてくるかと思うが、それでも猛暑、酷暑となれば、客足はまた遠のいてしまう。今の悪さを考えれば、今後も似たような状況で進むのではないかと。残暑が厳しいという話もある分、秋物の立ち上がりが遅くなるという危惧もあるが、悪いまま推移していくとみている。
	乗用車販売店（経営者）	・ものづくりの街である当地域は、近年の製造パターンである1次下請企業から2次下請以下への締付けというか厳しさがあるため、お金の流通に偏りがあり、先がなかなか見えない。	
	乗用車販売店（販売担当）	・良くなる、悪くなる要素のどちらもないので、変わらない。	
	乗用車販売店（販売担当）	・新車部門は駄目だが、来客数は増えている。中古車、修理部門が今のところ順調に伸びているので、売上額は余りいかないが、利益的には今の状態が続けば良い。	

自動車備品販売店（経営者）	・当店は市の北側に属するところで、この地域の開発や事業が、身の回りで何もない。市の南側ばかりが開発されている。地域的にも成長を感じられず、人の動きも比較的消極的と感じている。今後、大きく伸びることは望まず、成長や活気も期待できない。
住関連専門店（店長）	・来客数、販売数共に、前年と同等に推移している。
住関連専門店（仕入担当）	・異常気象が恒常化し、先を見通すことがとても難しい。個人消費の底上げは感じられず、前年8月と比べればプラスは見込めるが、それも天候次第である。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・業界でみても、新しい物が生まれていないので、このまま、インターネット販売の構図やロープライスの物や品質の良い物が好まれる状況は変わらない。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残は変わらずに推移している。今後は減少傾向になっていくとみている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・秋になれば競合店出店の影響は一巡して落ち着くが、ベースとなる客の買上率上昇の見込みが薄い。特に、アパレル部門の靴、服飾雑貨、宝飾は厳しく、インターネット販売と競合店の影響で苦戦が続いている。
一般レストラン（経営者）	・食品品の値上げが続々と実施され、周辺飲食店も値上げしたことから、外食する人たちの裾野が狭まって、来客数が減少しているのではないかと推察している。この傾向はまだまだ続くともみている。
都市型ホテル（営業担当）	・3か月後も現状維持はできているのではないかと。落ちる要素もなく、今まで県南のホテルの稼働率が低かったが、固定客も付いて、稼働率の維持ができる状況が見えてきている。
都市型ホテル（営業）	・夏休み等の長期休暇があり、営業的には厳しい時期である。また、秋口にかけても大きな行事等もなく、2～3か月後も現状と変わらない。
旅行代理店（経営者）	・夏商戦が終わらないと先が読めないが、秋以降の旅行申込みはまだ少ない。
タクシー運転手	・地方では、景気の良い話は聞けない。
通信会社（経営者）	・人手不足は深刻であり、必要とする人材を採用することは難しい。
通信会社（営業担当）	・9月決算の会社も多いことから、販売促進に向けた動きが活発になる可能性がある。
テーマパーク（職員）	・この夏の猛暑に加え、台風の異常進路などを考えると、例年のような夏季のハイシーズンになるか心配である。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・回復の材料が見当たらず、消費意欲も低迷する一方である。
設計事務所（所長）	・消費税再増税が言われているためか、一時期よりは相談件数は増えるだろうが、全体としては余り変わらない。
設計事務所（所長）	・都市部は良くなっているようだが、地方ではそうでもない。地方への影響に期待したい。
住宅販売会社（経営者）	・テレビ等で消費税再増税の話題が騒ぎ出せば、客の動きも積極的になるが、その気配はない。当分は現状維持である。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・商売は、余り良くならないようである。
一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏が終われば、売上も減少する。
スーパー（商品部担当）	・猛暑による飲料などの販売増はあるが、一過性のものである。農水産物などの今後の見通しも悪く、苦戦しそうな感じが伝わってくる。
コンビニ（経営者）	・今月は土用の丑の日などもあり、売上はかなり伸びたが、来月は旧盆があるので、来客数は減り、少し悪くなる。
コンビニ（経営者）	・ここ10年以上、年間を通して7月の売上が一番良いので、この先はやや悪くなる。
コンビニ（経営者）	・競合店の動きから、やや悪くなる。
コンビニ（店長）	・全体的に店の状況が好転しそうにないので、店舗改装の準備に入る。客足は落ちるとみている。
家電量販店（営業担当）	・今後は、季節商材であるエアコン取付工事の動きは期待できない。
都市型ホテル（経営者）	・過去3年間の動向から、先行きはやや悪くなる。
旅行代理店（所長）	・外国人の来訪は堅調に推移しているものの、秋季行楽シーズンの動きがどうなるか。大手エージェントの観光推進施策の効果に期待したい。
タクシー（経営者）	・昼も夜も動きが悪いので、この先も悪いとみている。
タクシー（役員）	・人材不足のため、やや悪くなる。
通信会社（総務担当）	・例年7月をピークに10月までは販売量が減少するため、やや悪くなる。

	通信会社（局長）	・秋祭りまでは、スポット的に盛り上がるが、根本が変わらなければ景気は悪くなる。原因は、人口流出、自然減、ガソリン価格の高騰が考えられる。外国籍の方の移住で表向きは人口増になっているが、地域としても、そこに注目して対策を練るべきである。
	競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪レースの売上が、50億円を切るような状況になってきたため、やや悪くなる。
	美容室（経営者）	・地方では景気はますます冷え込む。美容室などは同業者が多過ぎて、個人の企業努力だけで回復できる力はない。誰かが倒れ、その隙間を他が埋めるといった感じがする。
	美容室（経営者）	・ワークシェアは皆で等しく貧しくなろうということか。それを民間人にだけ押し付ければと思っているから、良くなるわけがない。
	通信会社（経営者）	・なぜ日本だけデフレから脱却できないのか。金に不自由しない政治家や官僚が、机上で方程式に当てはめた政策を打ったところで、恩恵を受けたのは大都市圏の大手企業のみである。都市圏以外の国民目線で見れば、この先地域格差が一層進み、早晚地方は立ち行かなくなるということを再認識させられただけである。
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・当社の主力2部門のほか、太陽光発電事業の新規設置箇所が増えていくため、増収増益が続く。
	金属製品製造業（経営者）	・新規取引先ができて、単価面でもとても良く、受注量も多くなっているため、今後は楽しみである。
	金属製品製造業（経営者）	・新規の引き合いがあるため、やや良くなる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・この先2～3か月の受注内示をもらっているが、今月より来月、来月より再来月、というふうには伸びている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの北米向け販売が79か月連続で前年を超えており、カナダ向けも25か月連続で前年超えとなっているため、やや良くなる。
	建設業（開発担当）	・今期公共工事は前年比9%増であり、現政権に大変感謝している。過去の政権には不満を持たざるを得ない状況であった。ただ現政権は、官邸に権力が集中し過ぎて、官僚が国民目線ではなく官邸目線になりすぎているのが心配である。当社は今期決算は前々期売上の90%なので、決算は厳しくなりそうに心配している。
	建設業（総務担当）	・民間の引き合いもあり、公共は今後の発注見通しをみてもかなりの工事量が見込めるため、上向くのではないかと。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・最近の引き合い、商談件数の増加から推測すると、今後の収益改善が見込まれる。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・季節要因が影響している。
	一般機械器具製造業（経営者）	・同業他社で処理しきれない案件の引き合いも継続しており、忙しい状況が続く見込みである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・メインの取引先の生産動向が低迷している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の受注量、販売量といろいろ見ているが、この2～3か月はやや良い状況である。今後に減るか増えるかは、まるで分からない。不透明なところが非常に多い。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	輸送業（営業担当）	・今後も猛暑が続く予報が出ているので、エアコン、扇風機等の家電や飲料水などの物量は、前年を大幅に上回る依頼がありそうな状況である。ただし、車両不足も続いており、用車費並びに燃料代の高騰等もあるため、仕事量に対して利益は薄くなりそうである。
	通信業（経営者）	・変わる要素がない。
	広告代理店（営業担当）	・中小企業ではボーナスの出ないところがほとんどで、消費が活発にならない。
	司法書士	・どうしても前向きな投資についての相談が来ない。相続や家の売却のような登記だけだと、やはり少しずつ落ちていくので、落ちる路線のままで変わらない。
	社会保険労務士	・暑過ぎるため、業種によって好不調の明暗がはっきり出そうである。
	化学工業（経営者）	・部門に好不調があり、好調な部門は今がピークだと思われる。また、不調部門では良くなる兆候が見えないため、この先はやや悪くなるのではないかと。
	不動産業（経営者）	・既存物件の空室数が顕著に増加しているなかで、新築物件も増えており、供給過剰が続くとみている。

		不動産業（管理担当）	・延期した保守作業は追加で支払を受けることもできないので、その分余計な負担となる。募集している人員も集まりにくいいため、余裕のない状態が続く。また、業務契約の見直しによる支払の削減要請も引き続きあり、先行きは良くない。
	x	-	-
雇用 関連 (北関東)		職業安定所（職員）	・しばらくは受注増が続いていると思われる。
		人材派遣会社（経営者）	・学校関係は夏休みに入り、また、お盆、旧盆等の休みで事業所も一旦落ち着き、客の購買意欲は、やむを得ず購入という感じである。衣料、生鮮食料品、鮮魚等、スーパー関連の売上は、結構伸びていくとみている。また、お中元、暑中見舞い等のギフト用品も動きは上昇傾向で、そのまま推移していく。
		人材派遣会社（経営者）	・世間では人手不足の感じだが、現状、地方の当地で求人募集している会社は少ない。
		人材派遣会社（管理担当）	・派遣先であるコンビニの麺類製造計画が例年並みである。
		職業安定所（職員）	・求人数は多少減少しているものの、ほぼ変わらない状態が続いている。求人者からは、依然として人手不足との話を聞いているため、現状維持かとみている。
		職業安定所（職員）	・前年5月以降、有効求人倍率は2倍を超えたまま大きな変動はない。
		学校 [専門学校]（副校長）	・人材確保対策コーナーを開設するなど、商工業の深刻な若年層の労働力不足対策が試みられているものの、県内中小企業の人材確保は厳しい状況である。
		*	*
	x	-	-